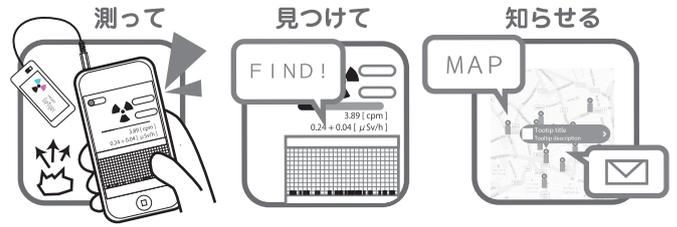


POCKET Geiger
半導体ガイガーカウンター
www.radiation-watch.org



この線量計は、スマートフォンと接続することで、空間の放射線を測定し、情報を共有することが出来ます

※対応機種：iPhone 3G / 3GS / 4 / 4S、iPad / iPad 2、iPod touch (第2～4世代) ※いずれも iOS4.3 以上であること

ポケガはどのように放射線を測定しているのか？

放射線＝降ってくる雨、線量計＝口の開いたペットボトル、と考えると測定の実理はわかりやすいです

市販されている線量計での放射線量の測定は、ペットボトルで降雨量を測るようなもの。

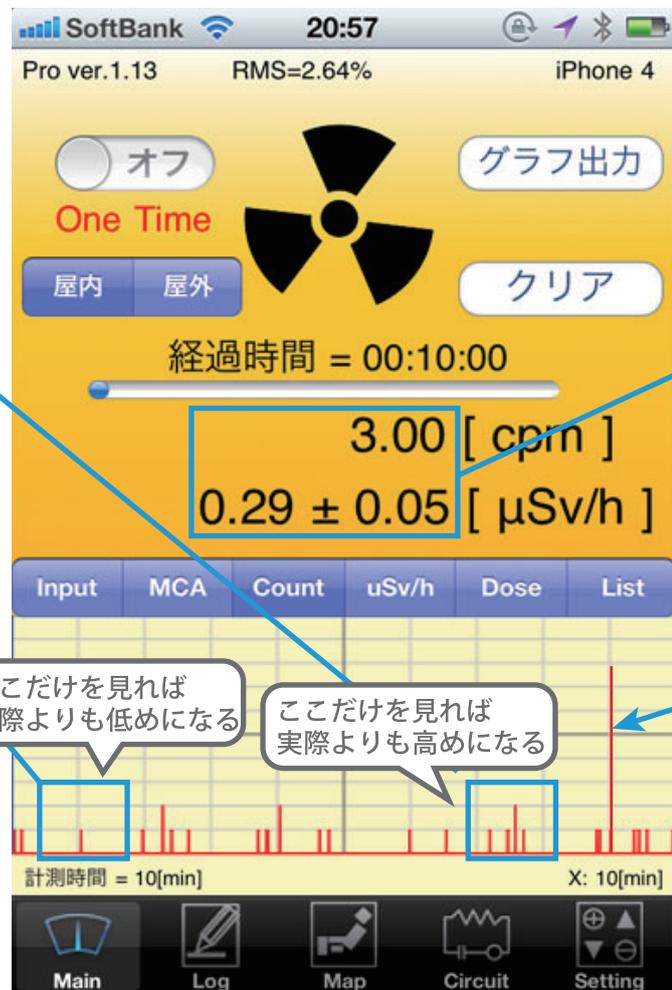
大雨か小雨かはわかるけど、特に小雨(＝低線量)の時の降雨量/分の測定値は、小雨がペットボトルに落ちるかどうかの運次第。だから短時間での測定では誤差が大きくなりますので、長く測ることによってより精度を上げる必要があります。

放射線が放出されるタイミングはとにかく気まぐれで不定期



受動素子もコンパクトなため、放出された放射線をキャッチできるかは不確定でバラつきが多い

※サンプル画面は計測終了時のものです(計測時間10分)



測定中は数字が変動するが放射線量自体が変化しているわけではなく、平均値をリアルタイムで算出しているから。

ここだけを見れば、実際よりも低めになる

ここだけを見れば、実際よりも高めになる

他に比べてノイズの可能性がある

同じ場所で測定していても、短い時間では誤差が大きいため、長時間測定してその平均を取ることが重要になる

放射線を補足するタイミングにはバラつきがあるので、ポケガは、何回も測定を行い、その平均値を自動的に計算します。これを長時間行うことにより、測定精度を上げることが出来ます。Pro版アプリでは、平均値が一定の値に収束していく様子をグラフ表示することが出来ます。この【測定プロセスをユーザーが見られるようにしたこと】はポケガの大きな特長の一つです。